

木馬会会報 (第25号)

＊阪神大賞典＊

～木馬達の予想～

本誌 TP

しかしまあフジキセキの強いこと強いこと。サンデーサイレンスがその父ヘイローにそっくりなようにフジキセキも父サンデーサイレンスにそっくり。デビュー以来どんどん増えつづける馬体重といいそこ知れぬ強さを秘める。多少首が高い走りが気になるが、無事なら2年連続の3冠馬誕生は間違いないだろう。ブライアンが超高性能エンジンならフジキセキは重戦車。もしかしたらブライアン以上の怪物ではないかと私の評価は高いが、皆さんはいかがであろう。

チューリップ賞

◎…プライムステージ

△…ユウキビバーチェ、ジェビロレディ、ダンスパートナー、レイナロバリー

～予想者の屁理屈～

この相手ならPステージで大丈夫。とにかく連ははずさない。休み明けダンツダンサーは血統的にも早熟型で消し。この1勝馬の組み合わせならYビバーチェが狙い。ダートで全く走らないトニービン産駒が500万特別のダートで圧勝。その時の2着マークプロミスは次走芝で圧勝。相当な能力があるとみた。ほぼこの2頭で固い。出遅れ癖のあるDパートナーは信用できないし、それならJレディ、Rロバリーも差はないはず。

阪神大賞典

◎…ナリタブライアン ○…ハギノリアルキング

～予想者の屁理屈～

くだらん。リアルキングも信用ならないが、他に鼻糞みたいな馬しかいないんだからしょうがない。逆におもしろいのがリアルキングの単勝。ブライアンは休み明けの3000m。調子に乗ったリアルシャダイ産駒、ぴったりマークなら抜かせない場面も。だけどやっぱり買えないよなあ。

マーチS

◎…フォスターホープ ○…ダンディテシオ ▲…マルブツキラメキ

△…リドガイ、アドマイヤボサツ、キソジゴールド、エンビライナー

～予想者の屁理屈～

距離延長、得意の中山コースに1800m。調子も上昇中。去年の夏にはライブリマウントと互角の戦いをしていた馬。ハンデ戦のここなら大きく狙えるだろう。対抗はDテシオ。中山での圧勝振りが忘れられない。ウインター、フェブラリーの様な早仕掛けさえなければ確実に差し切れる。キラメキ、リドガイも差はなく、この4頭のボックス買いでほぼいける。58kを越えると途端に走らなくなるトーヨーリファールに59kは辛すぎる。ここは黙って消し。

中山記念

◎…サクラチトセオー ○…ホクトベガ ▲…ホッカイセレス

△…フジヤマケンザン、エアリアル、エーブアゲイン

～予想者の屁理屈～

1着と6着を繰り返しているチトセだが、6着はすべてGI。GIでは負けられまい。オープン大將はまだ健在。ここ数戦の内容に調子上昇の気配が感じられるホクトベガ。ここも先行馬がかなり揃い展開もおあつらえ向き。前走から1.5kの斤量減も大きい。たいして負けていないし前走はダートだったのに何故か人気は激減しているHセレスが狙い目。巨漢馬のわりに休み明けは走るFケンザンも十分圏内。やはりGだけあってなかなかのメンツがそろった今回。目黒記念や日経新春杯とはメンツのレベルが違う。実績上位馬で決まるだろう。前走で復調が伺えるエアリアルまで。エーブアゲイン、トロットサンダーが穴人気になるが、このレベルではまだまだ。エーブは取り合えず岡部が乗るから消さないで、前走圧勝もろくでもない相手だったことを忘れてはならない。トロットは中間コズミぎみで出走を迷っていたほどでそんな状態で勝とうなんざオープンは甘くはない。ウインドフィールズも結局はセントライト記念のレベルが低かったことと道悪に助けられたことが決定的だし、オフサイドトラップは前走8頭立てですんなりした流れに助けられただけ。人気はおかしなことにかなり分散するはずで、上記の馬券でも十分おいしい配当が手にいれられそう。

この3週間まったくの不調で回収率は下降する一方。こんな回収率は公表したくないのですが、この恥ずかしさをばねにしてこの後頑張ります。現在の回収率：68.1%

予想者 へな

中山記念

◎…エーブアゲイン ○…サクラチトセオー ▲…フジヤマケンザン

△…ホクトベガ △…オフサイドトラップ

…予想者の屁理屈…

「6、6、5、9、7、14、9、7、4」この数字が何だか分かるでしょうか。これは、先週（土日）の神様・仏様・岡部様の騎乗成績であります。頭の良い方ならもうお分かりでしょう。今週の岡部様は、必ず爆発（といっても普通に戻るだけだが）します。連対率100%は当たり前、勝率100%も夢ではないでしょう。という訳で、本命はエーブアゲイン。岡部様

が騎乗されなくても本命にしているであろう馬なので、岡部様なら“鬼に金棒・のれんに腕押し・へなも木から落ちる”ということで、ガチガチだね。相手は実力順にサクラチトセオー・ホクトベガ・オフサイドトラップだが、面白いのは先行馬のフジヤマケンザン。次走は日本代表として遠征するので、へんな走りはしないだろう。ちょっと重いかもしれないけどね。

阪神大笑点

◎…ナリタブライアン ○…ドルフィンボーイ

…予想者の屁理屈…

秋以降、急速に力をつけ、2戦連続して南関東のエース級アマゾンオペラを破っているドルフィンボーイに期待する。ここで走らなければどこで走るのか。狙うなら今回のみ。

チューリップ賞

◎…ダンスパートナー ○…レイナロバリー ▲…プライムステージ

△…ユキビバーチェ

…予想者の屁理屈…

まだ、桜の権利のないダンスパートナーで大丈夫。武だしー。豊だしー。相手はエルフィンSで接戦を演じたレイナロバリー。本番を睨んで、7分8分仕上げのプライムステージは3番手評価。

マーチステークス

◎…ダンディテシオ ○…トーヨーリファール

…予想者の屁理屈…

やっと分かった。こういうレースはやらないに限る。でも、どうしてもという方には◎○の一点をお勧めします。何点買っても当たらないって。

◎の“へな”の「この馬・あの馬・どんな馬」コーナー。

日曜日の4歳500万下（ダート）に出走するであろうテセウスクラージュ。
人気になってもケタが違いすぎる。

予走者 四国の井崎

春がやってきました。あと一月後にはクラシックレースが始まると思うとワクワクします。今週は幹事をお願いして会報を1週間早めてもらいました。来週1週間、韓国出張のためです。お願いを聞いて頂きありがとうございます。それも、前回の会報では以下のように大変お世話になったからです。ありがとうございました。

- ① TPさんと意見が一致し、勝負レースのフェブラリーSでのマッケンオー切りに自信を深めたこと。
- ② へなさんから中山牝馬Sがローレル競馬場賞とのヒントをもらい翌週の的中できたこと。
サクラローレルは連対したのでサイン馬ではなくほかにローレル馬を探したら同じ日の1Rに6枠10番で○○○ローレル（名前忘れた）が出ており、10番アルファキュート、

6枠ホクトベガ（抑えが反対から10番になるサマニベッピン）で勝負でバッチリでした。

アーリントンカップは今年は牝馬が牡馬より上という持論で◎エイシンバーリンで単勝負。ただ相手はまさかのプラス16kgのメイショウテゾロ、先行しなかったタイブルースとしており不的中。

フジセキは強かったですが、牡馬では他に強いのがおらず（今年は外国産馬の強いが多い）いまいちクラシックの盛り上がり欠ける気がします。

今週も忙しくて私独自の定量評価が出せないままの予想になってしまいますのをご容赦下さい。

阪神大賞典

- ◎ ナリタブライアン この相手では話にならない
○ ドルフィンボーイ 今週の大井の金杯をアマゾンオペラが快勝しているだけに狙ってみたい馬。木馬会の皆さんの意見を聞きたい。
▲ タマモハイウェイ 3連勝を忘れてもらっては困る
△ ハギノリアルキング ブライアンを負かしに行くと2着が危ない

チューリップ賞

サンデーサイレンスの勢いは止まらない。

- ◎ プライムステージ ここを勝って桜花賞馬を目指せ
○ ダンスパートナー 人気がかぶれば◎の単を勝負だ
▲ ジュピロレディ 穴で狙いたい ◎-▲でおいしい馬券とならないか？

中山記念

- ◎ サクラチトセオー 馬場悪化だけが心配。サクラの馬が重がへたなのは、馬ではなく騎手のせい。泥をかぶるのが嫌いな小島が我慢できれば逆にこちらは重馬場希望。GⅡのレースは格がものを言う
○ ホクトベガ 絶好調の横山典。去年のチトセオーのような馬
▲ トロットサンダー 得意の中山で距離短縮で穴をあけるかも
△ ウインドフィールズ

マーチS

- ◎ トーヨーリファール ライブリがいないGⅢなら59kgでも勝てる
○ ダンディテシオ 私は加藤騎手は好きな騎手です
▲ ミズノサーパス 前走タイム良し
△ リドガイ 前走1人気を裏切り急激に人気ダウンで狙い目

阪神大賞典 (GII)

ナリタブライアンが春の天皇賞に向けて始動するが、今回のメンバーはあまりにも手薄すぎる。本命は揺るがないだろう。相手も叩き上昇中、調子も今がピークに達しているハギノリアルキングで堅い。おそらくここで好走して天皇賞でも伏兵視されようが、天皇賞ではまず来ないだろう。ここで儲けたからといって2匹目のどじょうはないという典型的な馬である。なにはともあれ、宇宙の果てまで行ってもこの2頭で堅い。

- ◎ ナリタブライアン
- ハギノリアルキング

中山記念 (GII)

1着、6着を繰り返すサクラチトセオーの取捨がカギだが、このメンバーでは6着ということはないだろう。しかしここでの本命は上り馬トロットサンダーを思い切って狙う。1500万条件の身分とはいえ、前走の余力をもった勝ちっぷりといい、マイルの持ちタイムといい申し分ない。春の安田記念の大本命馬である。相手はサクラチトセオー、牝馬の有力どころホクトベガ、ホッカイセレスの3点で勝負する。

- ◎ トロットサンダー
- サクラチトセオー
- ▲ ホッカイセレス
- △ ホクトベガ

一丁S (GIII)

能書きは省略するが、ここは東に場所を変え仁川Sの再戦となる。

- ◎ マルブツキラメキ
- リドガイ
- ▲ パリスケイワン
- △ ヤグライーガー

予想者 ミスターX

中山記念

- ◎…サクラチトセオー
- …トロットサンダー
- ▲…ホッカイセレス
- △…エーブアゲイン
- △…マーメイドタバン

不安材料といえば1着、6着病くらいしか見当たらないチトセオーが◎。相手には本格化の様相漂う横山典じゃなくてトロットサンダー。勝ちきれないがこのメンバーならホッカイセレスも無視できない。△は調子でエーブ、ロバーツでタバン。

マーチステークス

- ◎…リドガイ
- …ヒシアリダー
- ▲…ローリエアンドレ
- △…ミズノサーパス
- △…イースタンヤング

前走は情けない負け方を喫したリドガイだが、ここは再び8歳のこの馬に期待してみる。相手は前走休み明けで最後までもたずに14/15頭に沈んだアリダー。叩いた上ずみを期待してみる。

▲には前走も抑えてしまったアンドレ、△には前走の末脚が忘れられないサーパス、さらに逃げ切ってしまうかもしれないイースタンヤングとした。

阪神大賞典

- ◎…ナリタブライアン
- …ハギノリアルキング
- ▲…ルーブルアクト

コメントは特にいらないと思うが敢えて書くなれば▲について一言。こんな予想をして馬鹿にされるかもしれないが彼は良化途上とは言え自分のペースで走った時にはこのメンバーなら上位とみる。でも、恐らくこのレースは見学するでしょう。

チューリップ賞

- ◎…プライムステージ
- …ダンスパートナー
- ▲…レイナロバリー
- △…ヤエノオトメ

◎、○については抜けていると思うが、狙って面白いのは▲、△の2頭である。荒れた京都でビッグショウリから入ってゲットできない詰め甘い私だが、再度、ダートで好走実績のあるこの2頭で勝負する。

P. S. オートマチックは次走もいりません。

勿論、スペクタクルは中央ではいりません。

さらに一言、スキーに行った時位は競馬を休みましょう。